

注: 本年10月から、青森県保健所が新しく稼動しましたが、システムの都合上、10月までの青森市分は東地方保健所管内分に含まれます。

第50週の発生動向(2006/12/11~2006/12/17)

1. 咽頭結膜熱については、八戸、むつ保健所管内において新たに**警報**が出されました。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、むつ保健所管内において第49週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、八戸保健所管内を除くすべての保健所管内において新たに**警報**が出されました。
4. 水痘については、弘前保健所管内で第49週から**注意報**が継続しています。
5. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で新たに**警報**が出されました。
6. 流行性耳下腺炎については、(東地方+青森市)保健所及びむつ保健所管内において、新たに**注意報**が出されています。上十三保健所においては第48週から、**注意報**が継続しています。

第50週五類感染症定点把握

注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		東地方(再掲)		青森市(再掲)		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数							
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市	合計
(72) インフルエンザ																			-1	インフルエンザ							
(59) RSウイルス感染症	3	0.33	2	0.22							1	0.25			3	0.38	6	0.14	3	小児科							
(60) 咽頭結膜熱			2	0.22	28	3.11					11	2.75					41	0.98	26	内科							
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	17	1.89	9	1.00	1	0.20	16	2.67	30	7.50			19	2.38	92	2.19	6	眼科							
(62) 感染性胃腸炎	180	20.00	186	20.67	52	5.78	109	21.80	143	23.83	111	27.75	23	23.00	157	19.63	781	18.60	196	基幹							
(63) 水痘	16	1.78	55	6.11	9	1.00	4	0.80	8	1.33	9	2.25			16	2.00	101	2.40	24								
(64) 手足口病					1	0.11					9	1.50	4	1.00			14	0.33	-1								
(65) 伝染性紅斑	4	0.44			1	0.11					5	0.83	8	2.00			18	0.43	14								
(66) 突発性発疹	3	0.33	3	0.33	6	0.67	1	0.20			2	0.50	2	2.00	1	0.13	16	0.38	5								
(67) 百日咳																			0								
(68) 風しん																			0								
(69) ヘルパンギーナ	1	0.11													1	0.13	1	0.02	1	東地方	2	1	1	0	0		
(70) 麻しん(成人を除く)																			0	弘前	15	9	6	3	1		
(71) 流行性耳下腺炎	28	3.11	10	1.11	17	1.89	4	0.80	26	4.33	20	5.00	11	11.00	17	2.13	105	2.50	4	八戸	14	9	5	2	1		
(73) 急性出血性結膜炎																			0	五所川原	7	5	2	1	1		
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	8	2.67	7	3.50	1	1.00							1	0.50	17	1.55	2	上十三	9	6	3	2	1		
(82) マイコプラズマ肺炎					6	6.00					3	3.00					9	1.50	4	むつ	6	4	2	1	1		
																				青森市	12	8	4	2	1		
																				合計	65	42	23	11	6		

は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

(29) つつが虫病(四類全数把握疾患)

八戸保健所管内: 1人

(18年計 27人)

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



図 青森県及び全国における定点あたり報告数年次比較

病原体はA群溶血性レンサ球菌であり、症状は、発熱(高熱)、咽頭痛、咽頭の発赤などです。青森県では、過去5年間の平均を上回る報告数で推移しており、9月下旬より増加傾向が続き、11月中旬からは急増しています(図)。現在、むつ保健所管内において、**警報**が出ていることから、今後、注意が必要です。感染は細菌者の唾液や鼻汁の飛散によって拡がることから、**頻繁なうがい及び手洗いを励行**することが重要です。

関連情報: 保健衛生課 こどもの感染症に注意しましょう <http://www5.pref.aomori.lg.jp/hoken/24072/cpub.html>